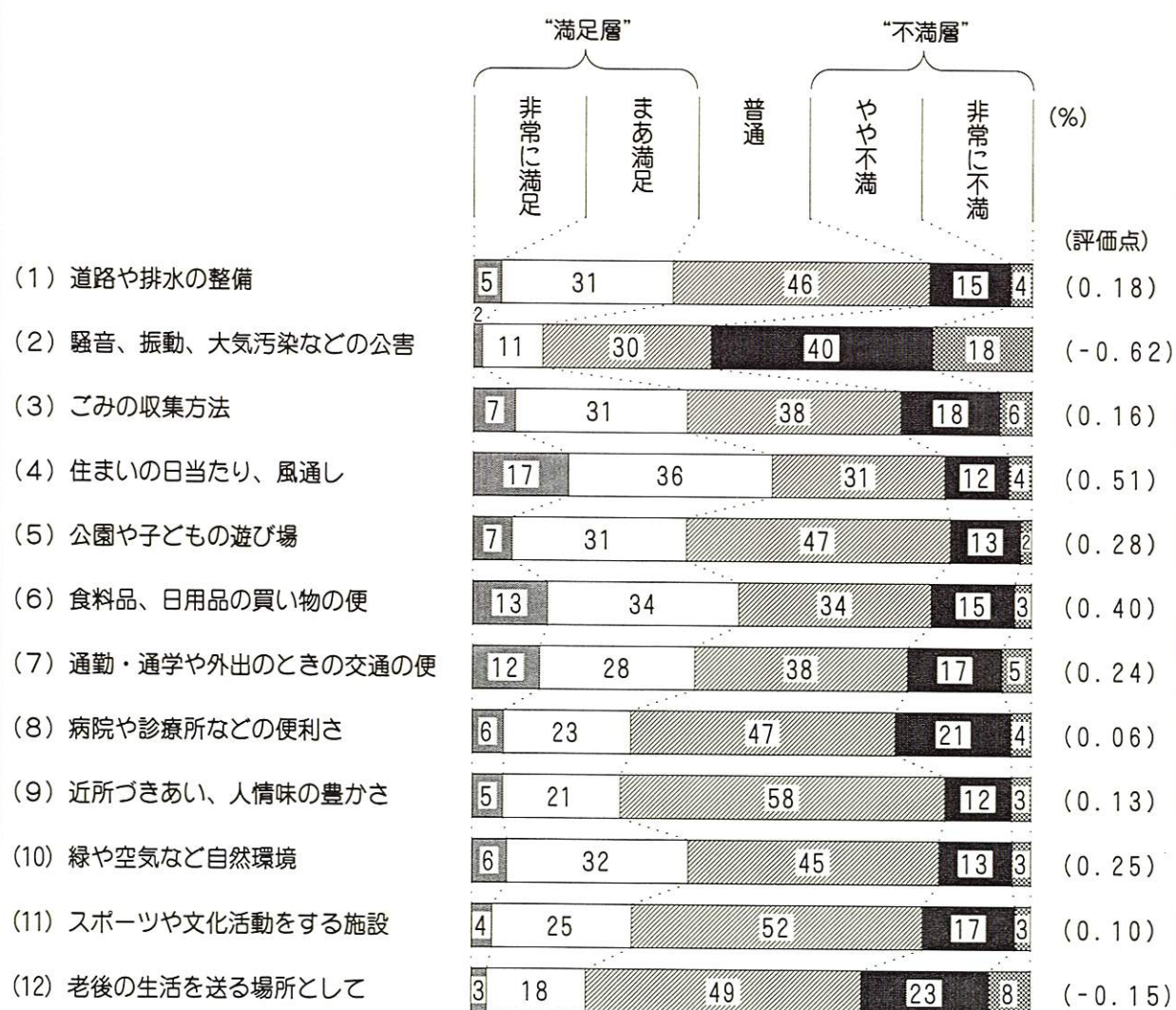


2. 生活環境評価

2-1. 地域の生活環境評価

問3. 次に生活環境についてお伺いします。あなたは、地域の住みよさについて、ふだんどのように感じていますか。これからお聞きする各項目、それぞれについて満足か、不満かをお答えください。（1つずつ）

図2-1-1



生活環境に関する12項目についての評価をたずねたところ、「非常に満足」と「まあ満足」を合わせた“満足層”が最も多かったのは、「住まいの日当たり、風通し」で53%、次いで「食料品、日用品の買い物の便」（47%）、「通勤・通学や外出のときの交通の便」（40%）の順になっている。逆に「やや不満」と「非常に不満」を合わせた“不満層”が最も多かったのは「騒音、振動、大気汚染などの公害」で58%、次いで「老後の生活を送る場所として」（31%）、「病院や診療所などの便利さ」（25%）の順になっている。（図2-1-1）

集計に際して、「非常に満足」に2点、「まあ満足」に1点、「普通」に0点、「やや不満」に-1点、「非常に不満」に-2点の得点を与え、各項目の総得点を無回答を除く回答者数で割り、平均評価点を算出した。それによると、最も評価が高い項目は「住まいの日当たり、風通し」(0.51)となっている。以下、「食料品、日用品の買い物の便」(0.40)、「公園や子どもの遊び場」(0.28)と続いている。一方、最も評価が低いのは「騒音、振動、大気汚染などの公害」(-0.62)となっている。(図2-1-1)

各項目別に住みよさの評価をしてもらった結果を、地域別にみると、「道路や排水の整備」は、「非常に満足」と「まあ満足」を合わせた“満足層”がDブロック(42%)とFブロック(40%)において4割を超え、評価点では特にFブロックが0.31と高くなっている。

「騒音、振動、大気汚染などの公害」は、「非常に不満」と「やや不満」を合わせた“不満層”が、全地域において“満足層”を上回っているが、なかでは“不満層”がFブロック(46%)で比較的低く、評価点も-0.42となっている。

「ごみの収集方法」は“満足層”が、Bブロック、Dブロック、Fブロック、Gブロックにおいて4割を超えている。一方、評価点はAブロックのみマイナス評価となっている。

「住まいの日当たり、風通し」は“満足層”がAブロック(46%)以外のすべての地域において5割を超え、評価点では、特にBブロックが0.63と高くなっている。

「公園や子どもの遊び場」は“満足層”がCブロック(54%)で5割を超えているが、E、Fブロックにおいて3割以下と低く、評価点でも、Cブロック(0.62)とEブロック(0.07)の差は0.55と大きくなっている。

「食料品、日用品の買い物の便」は“満足層”がE、F、Gブロックにおいて5割を超えているが、一方A、Bブロックにおいて3割以下と低くなっており、評価点でもEブロック(0.74)とAブロック(-0.03)の差は0.77と大きく、地域によって差が出ている。

「通勤・通学や外出のときの交通の便」はCブロックにおいて“不満層”(36%)が“満足層”(27%)を上回り、評価点も唯一マイナス評価となっている。

「病院や診療所などの便利さ」は“満足層”がGブロックにおいて41%と比較的高くなっている一方、“不満層”が、A、B、C、Dブロックにおいて“満足層”を上回り、評価点でもGブロック(0.36)とAブロック(-0.22)の差は0.58と大きくなっている。

「近所づきあい、人情味の豊かさ」は「普通」がDブロック(49%)以外において5割以上となっている。なかでも評価点はEブロック(0.22)とFブロック(0.23)が高くなっている。

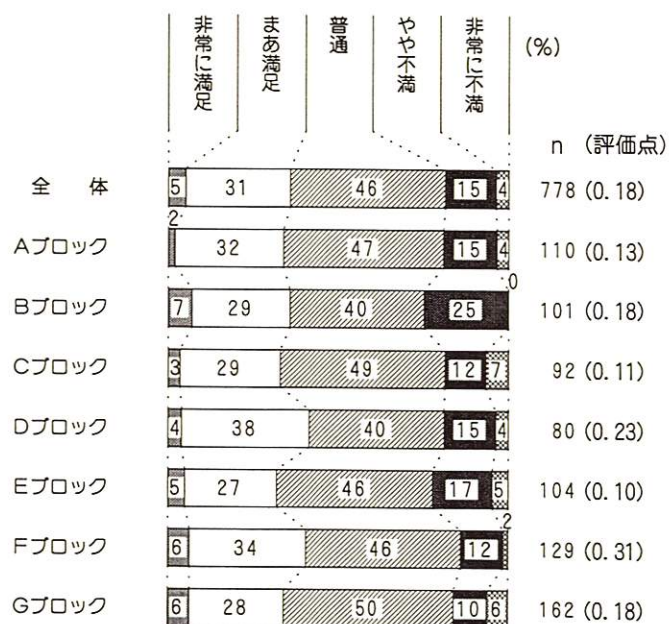
「緑や空気など自然環境」は“満足層”がCブロック(61%)で高い一方、D、Eブロックにおいて3割以下となっており、評価点でもCブロック(0.71)とEブロック(-0.05)の差は0.76と大きく、地域差がある。

「スポーツや文化活動をする施設」は“満足層”がCブロック(40%)で高く、評価点ではBブロックとCブロックで0.25と高くなっている。

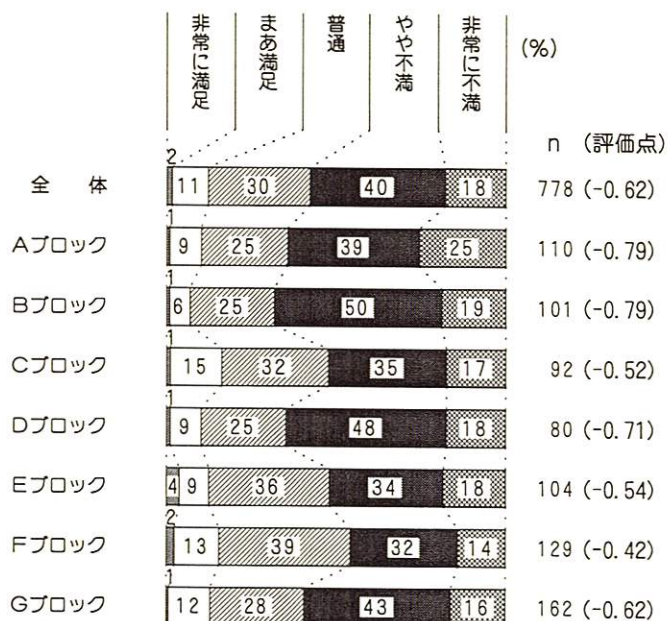
「老後の生活を送る場所として」は“満足層”がBブロック(33%)で他の地域に比べて高く、評価点でも唯一プラス評価となっている。(図2-1-2)

図2-1-2① 地域の生活環境評価—地域別

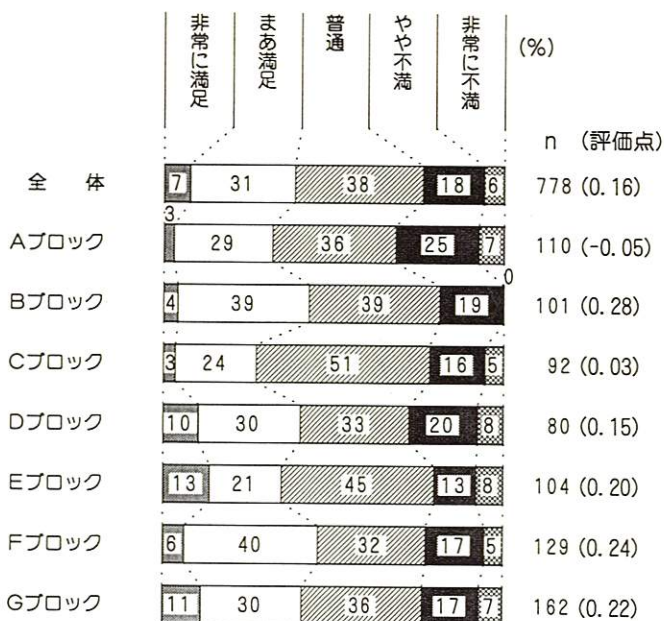
(1) 道路や排水の整備



(2) 騒音、振動、大気汚染などの公害



(3) ごみの収集方法



(4) 住まいの日当たり、風通し

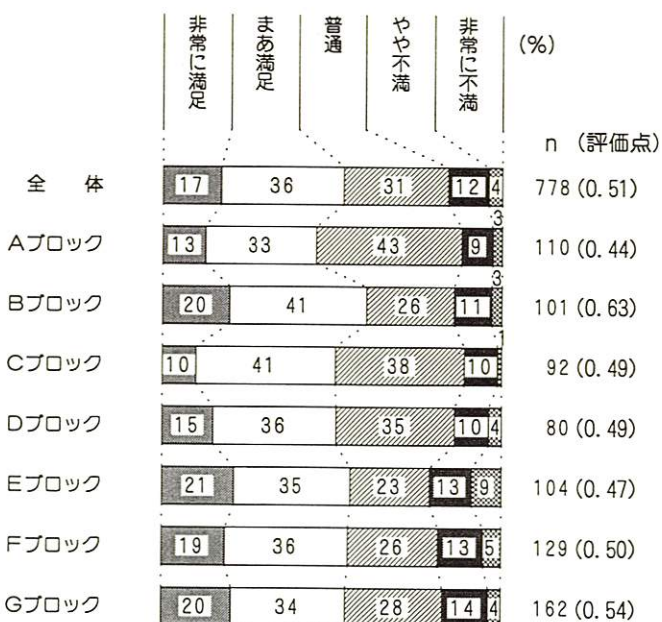


図2-1-2② 地域の生活環境評価—地域別

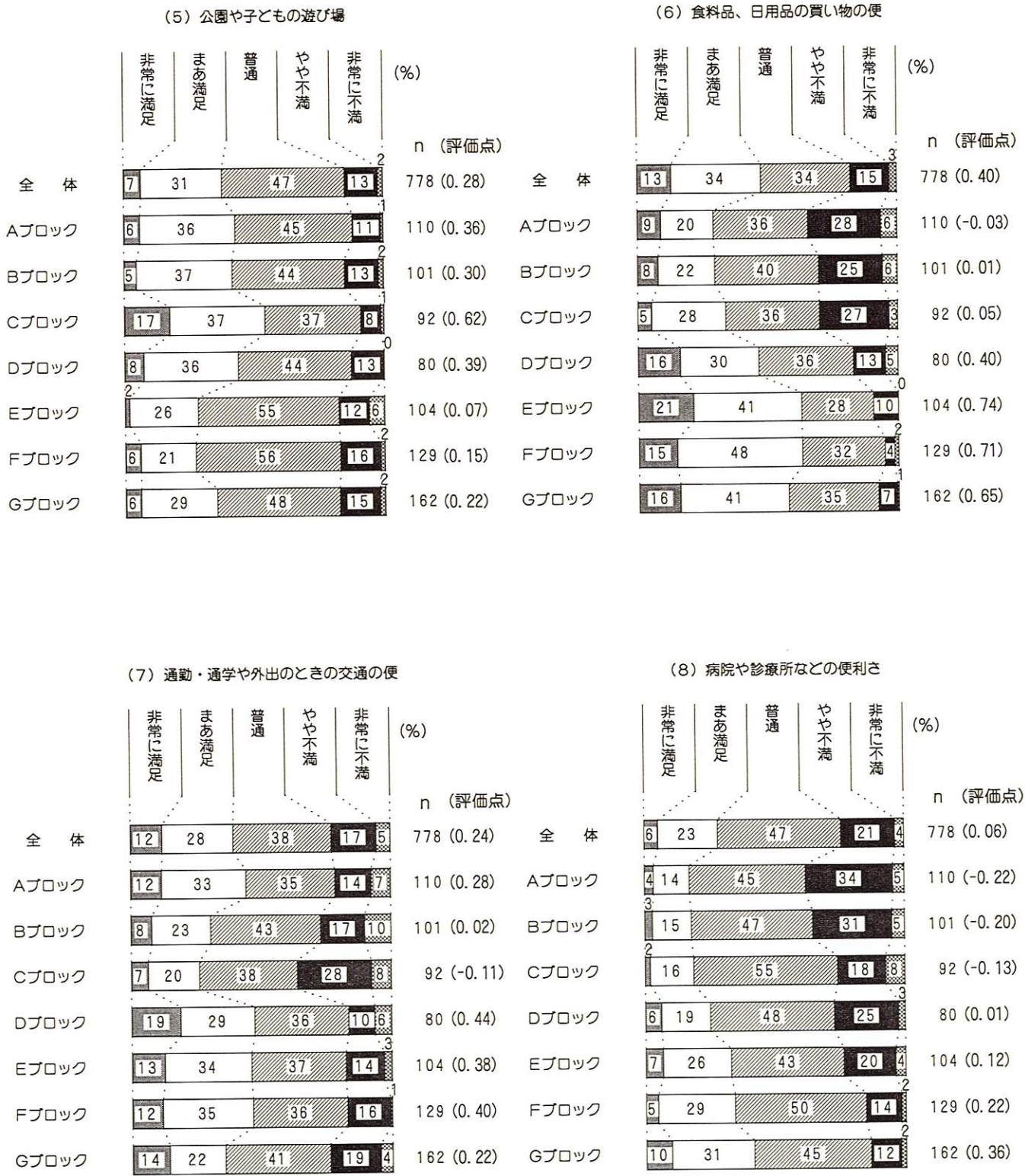
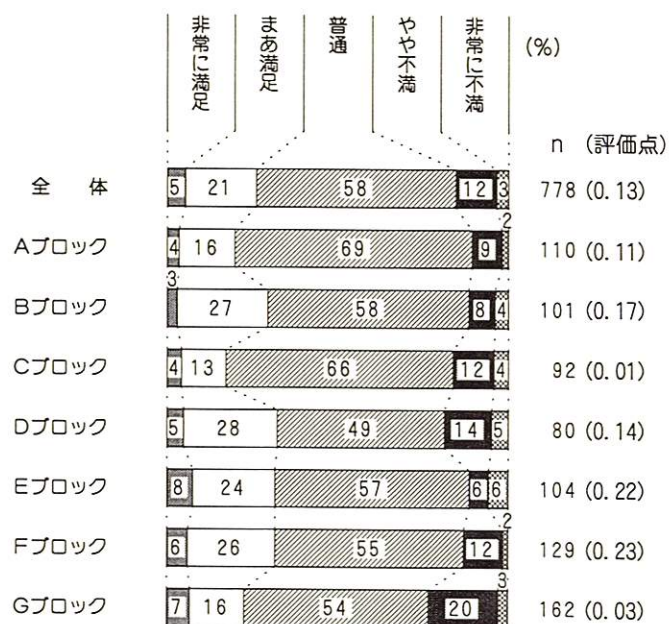
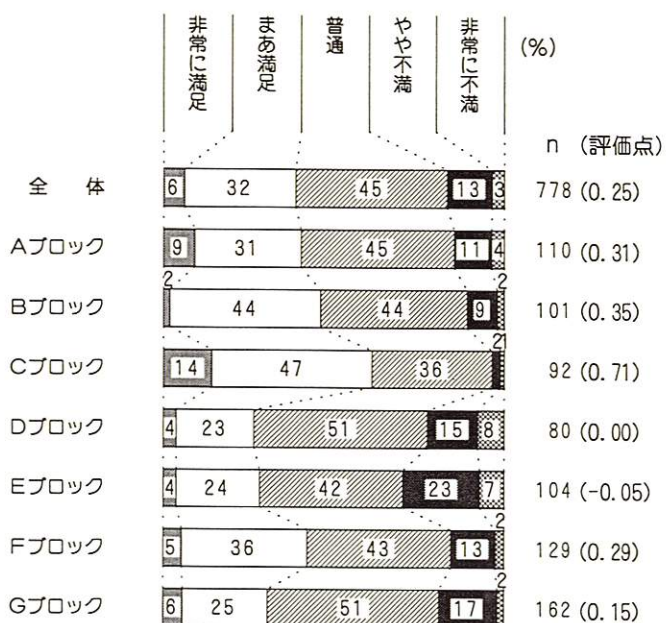


図2-1-2③ 地域の生活環境評価—地域別

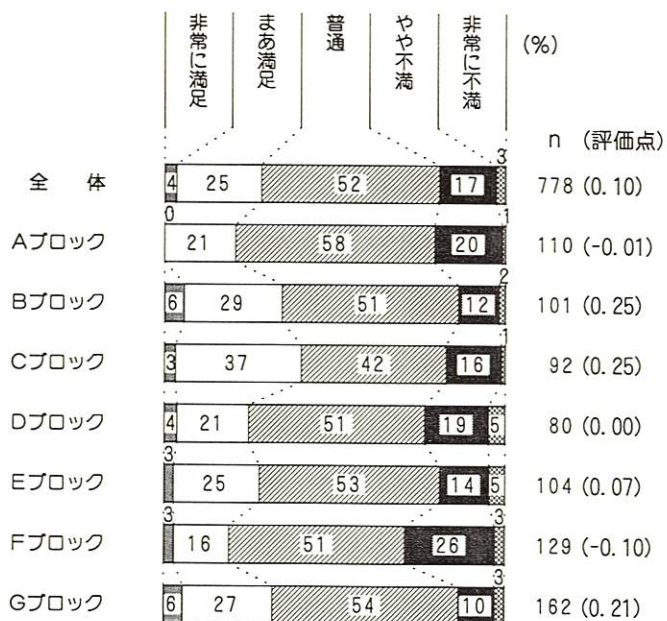
(9) 近所づきあい、人情味の豊かさ



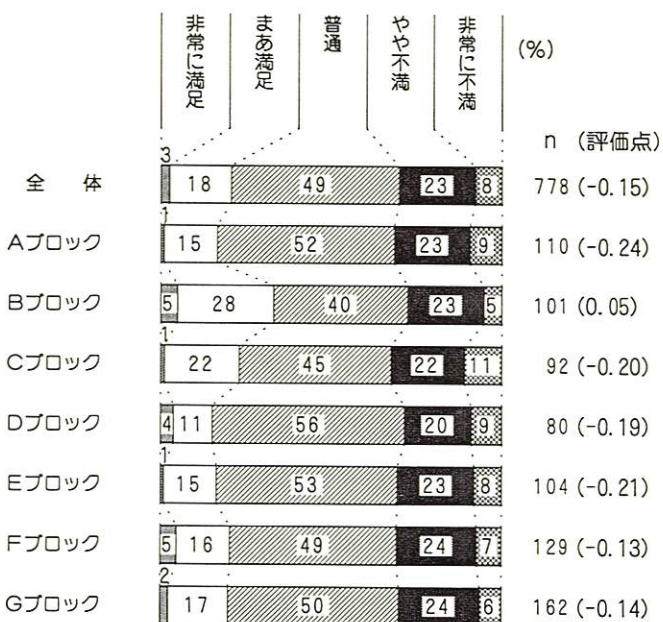
(10) 緑や空気など自然環境



(11) スポーツや文化活動をする施設



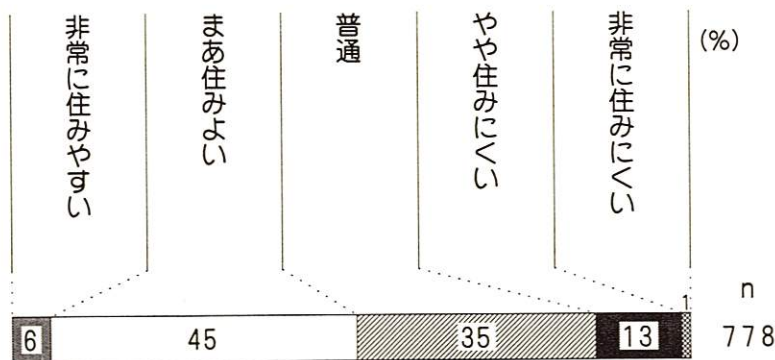
(12) 老後の生活を送る場所として



2-2. 総合評価

問4. いろいろお伺いしましたが、一口に言って、福生市は住みよい所だと思いますか。
それとも住みにくい所だと思いますか。（1つだけ）

図2-2-1

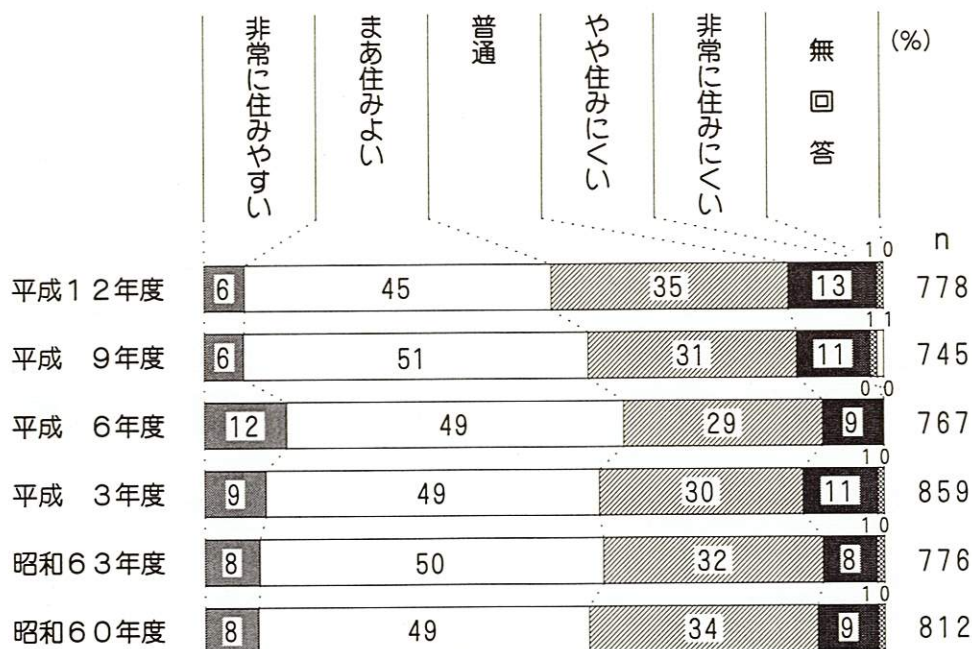


生活環境の総合評価についてたずねたところ、「非常に住みやすい」（6％）と「まあ住みよい」（45％）を合わせた“住みやすい”が51％と半数を超え、「やや住みにくい」（13％）と「非常に住みにくい」（1％）を合わせた“住みにくい”の14％を上回っている。（図2-2-1）

平成9年度の調査と比較すると、“住みやすい”の割合が6ポイント減少している。

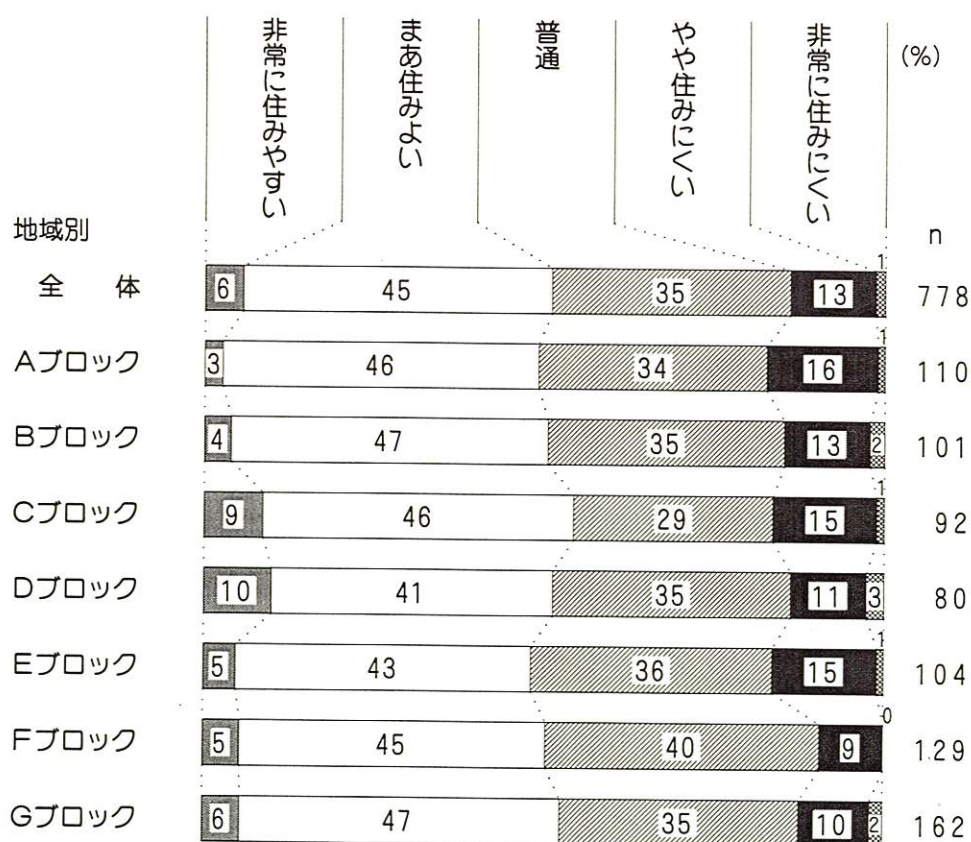
（図2-2-2）

図2-2-2 総合評価一時系列



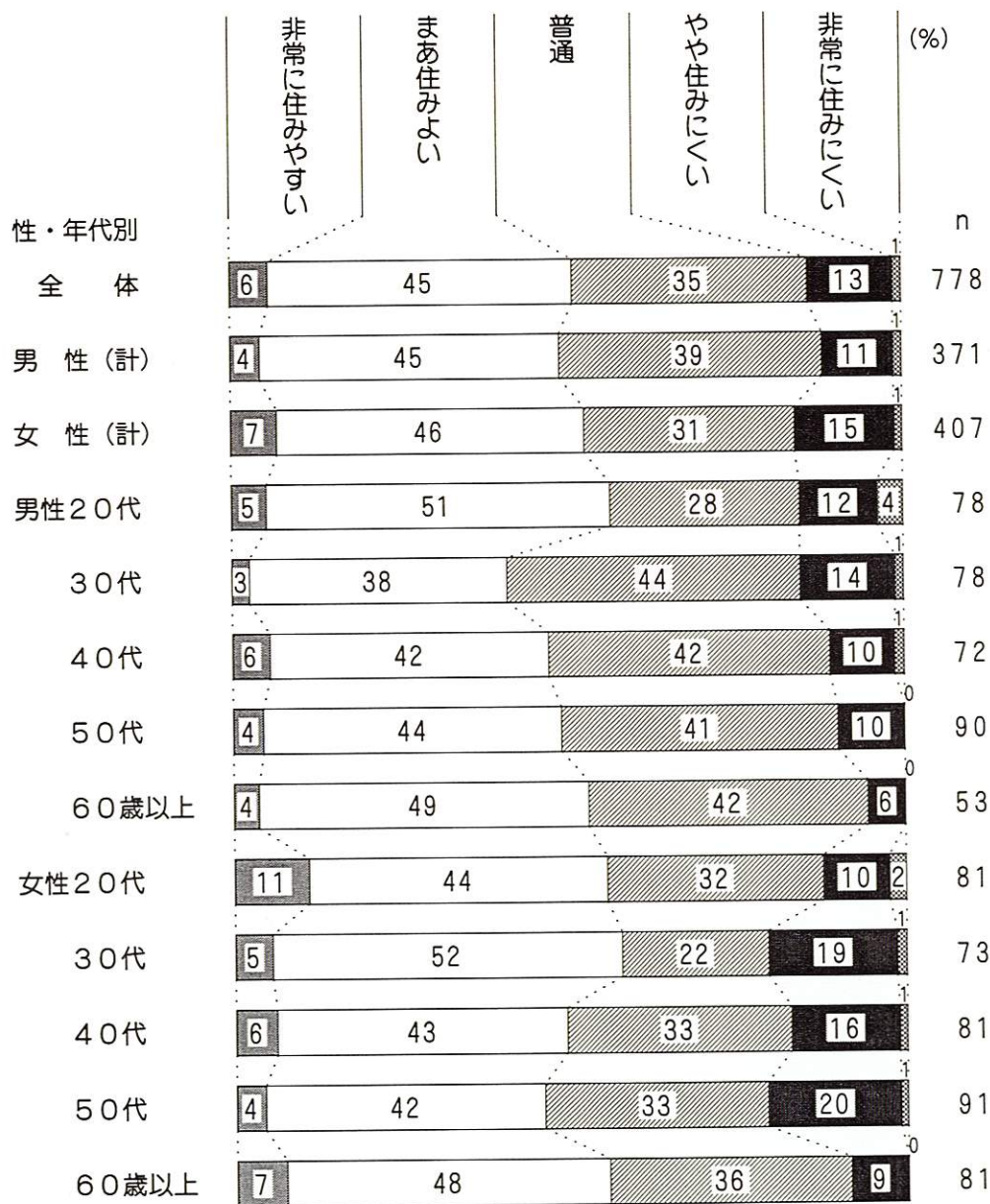
地域別にみると、「非常に住みやすい」と「まあ住みよい」を合わせた“住みやすい”がすべての地域において約5割となっている。（図2-2-3）

図2-2-3 総合評価—地域別



性・年代別にみると、「非常に住みやすい」と「まあ住みよい」を合わせた“住みやすい”が男性 20 代（56％）と、女性 20 代（55％）、女性 30 代（57％）、女性 60 歳以上（55％）において割合が高くなっている。また、「やや住みにくい」と「非常に住みにくい」を合わせた“住みにくい”は女性の 30 代（20％）と 50 代（21％）で多く約 2 割を占めている。（図 2－2－4）

図2-2-4 総合評価－性・年代別



ライフステージ別にみると、「非常に住みやすい」と「まあ住みよい」を合わせた“住みやすい”は、老人世帯で40%と、他と比べて低くなっている。（図2-2-5）

図2-2-5 総合評価－ライフステージ別

